

第6次岡崎市男女共同参画基本計画（案）に対する意見と市の考え方

番号	意見	市の考え方
1	<p>体系図の「かがやく社会へ」の行動指針について、ジェンダーありきの表現に思えるため、(1)「女性が」、(2)「女性の」、(3)「男性が」ではなく、「働きたい人が」「働きたい人の」「就労中の人」にした方が良いと思います。精神疾患や介護により離職する男性も増えていますが、継続雇用に馴染みの無い男性や家庭は実家や外部に任せているシングル女性も多いからです。</p>	<p>いただきました御意見を参考に、「女性が働き続けるための環境づくり」を「誰もが働きやすい環境づくり」に修正いたします。</p> <p>「女性の就労・再就労・起業等へのチャレンジ支援」「男性が家庭に参画するための環境づくり」につきましては、働きたいと思う女性がいる一方で雇用形態や管理職割合において男女差がある、家庭内での役割分担において家事の大半を「妻」が担う傾向があるなど、性別により異なる課題があるため、重点的に取り組んでいくこととして、「女性の就労・再就労・起業等へのチャレンジ支援」「男性が家庭に参画するための環境づくり」としております。</p>
2	<p>まず、今次計画における市民意識調査等のデータについて、具体的な調査手段についての詳細なデータを公表しなければ、市民に信用されるデータとは言えない。</p> <p>本計画の上位計画たる第7次岡崎市総合計画においては「スマートでスリム」な行政運営を目指している所、本計画で言及されている「DV相談窓口」「女性相談窓口」「LGBT相談窓口」等の類似窓口の多設は上位計画の方針に反し、また行政の効率化や市民の貴重な税金の使い道としても不適切かつ非合理的であり、類似相談窓口は当然一本化し、担当スタッフも最小化すべきであろう。</p> <p>計画文中において、多様性を謳いながらも専業主婦に対する言及や配慮は一切なく、女性は男性と対等に働かなければ</p>	<p>いただきました御意見を参考に、市民意識調査の具体的な調査手段についての記載を追加します。なお、調査結果はホームページに掲載しています。</p> <p>相談窓口につきましては、男性、女性、LGBTQの方などでは、相談のニーズが異なり、必要となる知識も異なることから、それぞれのニーズに合わせた相談対応ができるよう個別に窓口を設置しております。</p> <p>本計画は女性が働くことを強要するものではなく、働きたいと思う女性が自らの希望に応じた働き方を選択できるよう支援するものです。すべての人が性別等による差別的取扱いを受けることなく、その人権が尊重され、自己の意思と責任によりそれぞれの生き方を選</p>

	<p>ればならないという思想が背景にあるように感じられてならないが、こうした考え方は行政が女性の生き方や職業の選択の自由を奪っているという面も否定できない。</p> <p>以上のような根本的問題を抱えた本計画についてはその疑惑が解消されない限り積極的に推進することは控えるべきである。</p>	<p>択し、誰もが個性と能力を発揮できる社会の実現を目指してまいります。</p>
3	<p>本計画が掲げる「ジェンダー平等」の理念に異論はなく、その理念通りの社会になることは市民として望むところです。</p> <p>一方で、本計画全体には「性差（＝個人差）が最初から存在する」という前提が希薄であるように感じました。</p> <p>人には体力差・生活上の役割・価値観・働き方の優先順位など、多様な差があり、男女の違いもその一部です。</p> <p>社会生活や職場では、こうした“違い”を前提に役割分担が形成されており、男女の役割分担が歴史的に形成されてきた背景には、身体的特性や生活上の負担の違いなどを踏まえた一定の合理性があったことも事実だと考えます。</p> <p>こうした背景や生活者の実感を丁寧に把握しないまま、「均等にする」「役割を揃える」方向に寄り過ぎると、現場感のない“理想論”として受け止められるだけでなく、個々の不得手なことまで一律に求められ、生活や働き方の選択肢が狭まる懸念もあります。</p> <p>「違いが存在する」ことをまず認めたいうえで、不利益や固定化を解消していくという視点を計画に組み込むことが、理念と実態のバランスを取るうえで重要だと考えます。</p>	<p>いただきました御意見を参考に、第5章基本施策「みとめあう社会へ」の説明に「違いが存在すること」についての説明を追加させていただきます。</p> <p>また、小中学校への出前講座や教員向け研修を引き続き実施し、若年層への男女共同参画に関する教育の推進にも取り組んでまいります。</p>

	<p>また、こうした「違いの存在を前提にする視点」は、若年期の公教育の場で体験的に学べる機会があると、将来的な相互理解の基盤づくりに寄与すると感じます。</p>	
--	--	--

※いただいた御意見は趣旨を損なわない程度に要約しています。